令和7～10年度 中学校で使用する教科用図書の採択結果

第8回教育委員会定例会（令和6年8月7日）において、次のとおり採択されました。

種目（教科）	発行者	採 択 理 由
国語	光村図書出版株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・「語彙ブック」を使用し、表現の幅を広げられるよう工夫されている。 ・思考を高めるための問いが色を変えて示してあり、生徒にとって中心がわかりやすい。
書写	東京書籍株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の書き方について、順序を示してあり、分かりやすく示されている。 ・防災等、地域社会の生活の様々な場面で生かす工夫が特にある。
社会 (地理的分野)	日本文教出版株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・単元始めに、学習の流れ・視点が示されており、最後にデジタルポートフォリオができ、1人で学びを進めることができる。 ・「地域調査」の項では、「小学校で学習した内容」を示したり、具体的な地域を例として取り上げたりして、主体的に学ぶ工夫がみられる。
社会 (歴史的分野)	日本文教出版株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・資料が多く、右端の年表に時代区分があり分かりやすい。また、歴史の探究の単元では写真・資料を適切に使用し、具体的な例を取り上げていて調査方法が分かりやすい。 ・学習課題の表現がオープンエンドになっているため、課題解決的な学習を行いやすい。
社会 (公民的分野)	日本文教出版株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・資料・図・イラスト等が工夫してあり、学びやすい。 ・単元導入の工夫、思考ツールを使った思考の整理等、生徒が主体的に学ぶための工夫がされている。
地図	株式会社帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で学習した地図を振り返ることができるよう工夫してある。 ・地図で考えるコーナーが設けられている。 ・地方毎の資料の活用がしやすいものが多い。
数学	株式会社新興出版社 啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・例の解説動画を見て個別で学ぶことができ、「補充問題」が充実しているため、学び直しにも活用することができる。 ・下学年で学んだ内容を復習する問題を掲載している。
理科	東京書籍株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・探究の課程が分かりやすく示されていて、思考力を伸ばししやすい。 ・日常生活や社会とのつながりを考えることができる内容を示してある。

音楽 (一般)	株式会社教育芸術社	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びのコンパス」があり、丁寧に学びの方法が示してあり、主体的に学ぶことができよう工夫してある。 ・視覚的に分かりやすい工夫がしてあり、何を学ぶのか理解しやすい。 ・すべての曲に二次元コードが示してある。
音楽 (器楽合奏)	株式会社教育芸術社	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びのコンパス」があり、表現活動をとおして、表現力・判断力を育む場面を設定している。 ・聞き馴染みのある曲を使用して技能の習得ができるよう工夫がされている。
美術	光村図書出版株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科との関連を図りながら思考を高める視点がある。 ・日本文化が多く、日本絵画を風合いのある用紙に掲載し、理解を深める工夫がされている。
保健体育	株式会社 Gakken	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究しようよ！」の項の内容が充実しており、身近な現代課題を具体的に扱っている。 ・身近な事例をとおして生徒が学習できるようになっており、思考力を伸ばしやすい。
技術・家庭 (技術分野)	東京書籍株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての単元の第2章に「問題の発見」と「課題の設定」という項があり、主体的に学ぶ工夫がされている。また、思考力も育成できる。 ・デジタルコンテンツの活用を促す工夫がある。
技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂出版株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中の具体的なできごとから課題を考える活動の工夫がされている。 ・世界のマークを示し、世界へ視野を広げる工夫がされている。
英語	東京書籍株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の学びを振り返って、中学校の活動につなげる工夫が見られる。 ・文法の語順の示し方が統一され、分かりやすく表記されている。
道徳	日本文教出版株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳ノートが補助教材として用意されている。そのノートには中心発問のみの記載で、その他の発問は示されていないため、工夫しながら話し合いの内容も記述できる。 ・「学びを深めよう」を設け、教材の終わりに体験的な学習過程の例を示している。